

受験
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(禁無断転載)

平成 23 年 度
第128回 日商簿記試験予想
ラストスパート模試

1 級 — I

商業簿記・会計学

(午前 9 時開始 制限時間 1 時間30分)

答案
用紙

第2
予想

Net – School

<http://www.net-school.co.jp/>

© Net-School

--	--	--	--	--	--	--	--	--

第 128 回対策 答案用紙

生年月日 昭・平 . .

氏名

× (ココヲトジル) ×

試験地(会議所名)	採 点 欄

1 級 ①

商業簿記

× 22 年 4 月 1 日 ~ × 23 年 3 月 31 日

(単位：千円)

I 壳 上 高

1 一 般 売 上 高	(	)	
2 積 送 売 上 高	(	)	
3 試 用 品 売 上 高	(	)	
4 ()	(	)	()

Ⅱ 壳 上 原 価

1	期首商品棚卸高	(	)	
2	当期商品仕入高	(	)	
	合 計	(	)	
3	他勘定振替高	(	)	
4	期末商品棚卸高	(	)	
	差 引	(	)	
5	()	(	)	()
	売上総利益	(	)	()

Ⅲ 販売費及び一般管理費

1	販 売 費	(	)	
2	一 般 管 理 費	(	)	
3	貸倒引当金繰入	(	)	
4	減 価 償 却 費	(	)	(
	営 業 利 益			)

IV 營業外費用

1 社 債 利 息	(	)	
2 (	(	)	(
経 常 利 益			)

V 特别利益

$$\begin{array}{lll} 1 & (&) \\ 2 & (&) \end{array} \quad \begin{array}{ll} (&) \\ (&) \end{array} \quad \begin{array}{l} \\ (&) \end{array}$$

VI 特別損失

$$\begin{array}{lll} 1 & (&) \\ 2 & (&) \end{array} \quad \begin{array}{lll} (& &) \\ (& &) \end{array} \quad \begin{array}{l} \\ (& &) \end{array}$$

税引前当期純利益	()
----------	-----

法人税・住民税及び事業税 ()

当期純利益 ()

受験
番号

平成 23 年度 ラストスパート模試・第 2 予想

第 128 回対策 答案用紙

生年月日 昭・平 . .

試験地(会議所名)	採 点 欄

1 級 ②
会 計 学

氏名

× (コピートジル) ×

第 1 問

1	2	3	4	5

第 2 問
問 1

NS 社貸借対照表				(単位：千円)			
× 23 年 4 月 1 日							
諸	資	産	()	諸	負	債	()
()	()	()	()	資	本	金	()
				利	益	剰	余
			()				()

問 2

抱合せ株式消滅差益 千円 のれん 千円

資本金 千円

第 3 問
問 1

株式報酬費用 円

問 2

株式報酬費用 円

問 3

(単位：円)

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

問 4

新株予約権 円

受験
番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(禁無断転載)

平成 23 年 度
第128回 日商簿記試験予想
ラストスパート模試

1 級 — II

工業簿記・原価計算

(商業簿記・会計学終了、休憩後開始 制限時間 1 時間30分)

答案用紙

第2予想

受験
番号

平成 23 年度 ラストスパート模試・第 2 予想

第 128 回対策 答案用紙

生年月日 昭・平 . .

試験地(会議所名)	採 点 欄

1 級 ③

工業簿記

氏名

× (ココヲトジル) ×

第 1 問

①	②	③	④	⑤

第 2 問

問 1

(1)

	材料甲	材料乙	合 計
材料受入価格差異	円()	円()	円()
材料消費量差異	円()	円()	円()

(2)加工費配賦差異 円()

(注) 有利差異の場合は「F」、不利差異の場合は「U」、差異の金額を「0」と解答した場合には「－」
と()内に記入すること。

問 2

売 上 原 価 円

期 末 製 品 円

問 3

仕 掛 品		(単位：円)
材料 ()	製品 ()	
追加配賦	次期繰越 ()	
材料受入価格差異 ()	材料消費量差異 ()	
材料消費量差異 ()	加工費配賦差異 ()	
加工費 ()		
追加配賦		
加工費配賦差異 ()		
()		()

売 上 原 価 円

期 末 製 品 円

試験地(会議所名)	採 点 欄

1 級 ④

氏名

× (ココヲトジル) ×

原 価 計 算

第 1 問

①	②	③	④	⑤

第 2 問

問 1

自製部品	自製部品 101	自製部品 102	自製部品 103	自製部品 104
単 位 あ た り 標準変動製造原価	@ 円	@ 円	@ 円	@ 円

製 品	製品 X	製品 Y	製品 Z
単 位 あ た り 標準変動製造原価	@ 円	@ 円	@ 円

問 2

部品組立部門の遊休生産能力

時間

製品組立部門の遊休生産能力

時間

問 3

(1) 遊休生産能力で生産可能な製品 A の数量

個

製品 A の最低販売価格

@

円

(2) 製品 A の最低販売価格

@

円

問 4

(1) 遊休生産能力で生産可能な製品 B の数量

個

(2) T 社からの製品 B の引き合いが (1) の数量だった場合、この引き合いに応じることは、引き合いに応じな

いことに比べて

円

有利

不利

(いずれかを○で囲む)

(3)① (1) の数量を超えて製品 B を 3 個製造することで犠牲となる製品 Z の販売収益はいくらか。

円

② (1) の数量を超えて製品 B を 3 個製造することで節約できる製品 Z の製造に必要な製品組立部門の加工費はいくらか。

円

③ (1) の数量を超えて製品 B を 3 個製造することの機会原価はいくらか。

円

④ (1) の数量を超えて製品 B を 3 個製造することで余剰となる自製部品 102 を売却することで得られる販売収益はいくらか。

円

⑤ (1) の数量を超えて製品 B を 3 個製造することによる差額利益または損失はいくらか(差額損失の場合は金額の前に△を付すこと)。

円